

「ペットのブラッシング」

そろそろ夏服に衣替えの季節です。犬や猫たちもこの時季にはちゃんと忘れずに毛の量を調整しながら衣替えをしています。そんなペットたちの毛の生え変わりの時期には、適切なブラッシングで抜けた毛を取り除いてあげることで、ペットもさっぱりした毛並みで快適に夏を迎えることができます。

一口にブラッシングと言っても、時間がかかる上に、正しい知識が必要です。また、ペットがおとなしくリラックスしてブラッシングを受けてくれるように、小さなときから慣れさせておくことも必要です。その上で、季節の変わり目だけでなく、定期的にブラッシングをしてあげることで、ペットは気持ちよく過ごすことができ、皮膚の健康管理にも役立つため、犬と猫のオーナーの皆さんに是非実践していただきたいことの一つです。

利用するブラシや道具はペットの種類や毛質などによって違うため、ペットショップのスタッフ、ペットのトリマー、獣医師などに相談すると安心です。また、ブラッシングはペットにとってもリラックスできる時間。できれば静かな環境で行なってあげるのが良いでしょう。まずはペットに静かに話しかけ、軽く身体をなで、落ち着いたところで、やさしくブラシを当ててブラッシングを始めます。ブラッシングは、マンションの場合ならば必ず窓を閉めるなどして、毛の飛散を防止し、戸建住宅など戸外で行なうときも必ず大きめのシートを敷き、落ちた毛が風に飛ばされないようきちんと処理することも心がけたいブラッシングのマナーです。

長毛種やダブルコートの犬や猫の場合は、できれば週に一度の間隔でブラッシングを行うことが望ましいとされています。根本から毛先に向けてブラシを入れ、毛のもつれを解くようにブラッシングします。ブラシに引っかかる場所があっても無理に引っ張ったりせず、まずは指を使ってもつれをやさしく解いてやり、それからブラシをかけてあげるようにします。白い毛の犬や猫には、少量のベビーパウダーを使って体の汚れを落としてあげることも一つですが、この場合は必ず最後にパウダーを完全にブラシで落としてあげることが重要です。一方、超短毛種の場合には、濡れたタオルで体を拭いてあげるだけでも十分ですが、通常の短毛種に対しては、やはり定期的にブラッシングを施し、抜け毛を取ってあげるとよいでしょう。

これからの季節、散歩のたびに道端で元気に生え出した草花や虫を体につけてくることも多くなります。散歩から帰ったら耳の中や足の裏などをチェックしつつ、泥などの汚れを簡単に落としておくことで普段のブラッシングが楽に行なえます。ブラッシングは、毛を整えるという目的だけではなく、皮膚疾患やこぶ・しこりなどペットの健康状態の異常に気付く機会ともなります。また、ペットとスキンシップを築く時間としてもとても効果的です。家族としてのペットに健康で気持ちよく過ごしてもらうために定期的なブラッシングを心がけてみてはいかがでしょうか。

マース ジャパンは、製品や社会貢献活動を通して、人とペットが共に暮らす笑顔あふれる社会の実現を目指しています。このニュースレターは、マース ジャパンが人とペットの共生をテーマにした研究や支援活動を目的に 1997 年に設立したリサーチセンターである非営利団体コンパニオンアニマル リサーチ (CAIRC) とマース オーストラリアがサポートするコンパニオンアニマルに関わる活動を推進している PIAS と協力して発行しています。

お問い合わせ: マース ジャパン リミテッド 広報室 小川 電話:03-5434-3334